



報道機関 各位

熊本大学

熊本大学医学部附属病院で生後13日目の新生児への生体肝移植手術を実施

(概要説明)

平成22年11月15日、医学部附属病院において生後13日目の新生児への生体肝移植手術を実施しました。術後の経過は良好で、近日退院を予定しています。国内の生体肝移植患者では、生後13日目というのは最年少タイの記録で3例目になると見られています。

このことについて、下記のとおり記者発表を行います。

記

- ・日時 : 平成23年1月21日(金) 15時から
- ・場所 : 熊本大学医学部附属病院 山崎記念会館1階研修ホール
〒860-8556 熊本市本荘1-1-1
- ・会見者: *熊本大学医学部附属病院

病院長/小児外科長・移植外科長	猪股 裕紀洋
小児科長/周産母子センター長	遠藤 文夫
新生児学寄附講座特任教授	三淵 浩
周産母子センター助教	松本 志郎

記者発表に出席される方は、席や資料を準備する都合上、必ず事前に以下の問い合わせ先までお申し込み下さい。

【本件お問い合わせ先】

熊本大学医学部附属病院総務・人事ユニット総務担当

電話:096-373-5904/5907 FAX:096-373-5906

e-mail: iys-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp